

糸島市男女共同参画 推進状況報告書

(令和4年度実績報告)



令和5年8月

糸 島 市

1. 第3次糸島市男女共同参画社会基本計画の概要

「第3次糸島市男女共同参画社会基本計画（以下「計画」という。）」は、男女が互いにその人権を尊重し、共に責任を担い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野において対等に参画できる男女共同参画社会の実現を目的とし、「糸島市男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）」に掲げる8つの基本理念に則り、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために、令和3年3月に策定したものです。

基本理念（条例第3条）

1. 性別による差別を禁じて個人の尊厳を重視
2. 個性の尊重と能力の発揮
3. 社会における制度又は慣行についての配慮
4. 政策等の立案及び決定への共同参画
5. 家庭生活における活動と他の活動の両立
6. 教育の場における人権及び男女平等教育の推進
7. 互いの身体的特徴および性に関する個人の意思の尊重
8. 国際的な相互協力

なお、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（以下「DV防止法」という。）に基づく「市町村基本計画」及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「市町村推進計画」は、この計画の中に包含し、策定しています。

2. 計画の位置付け

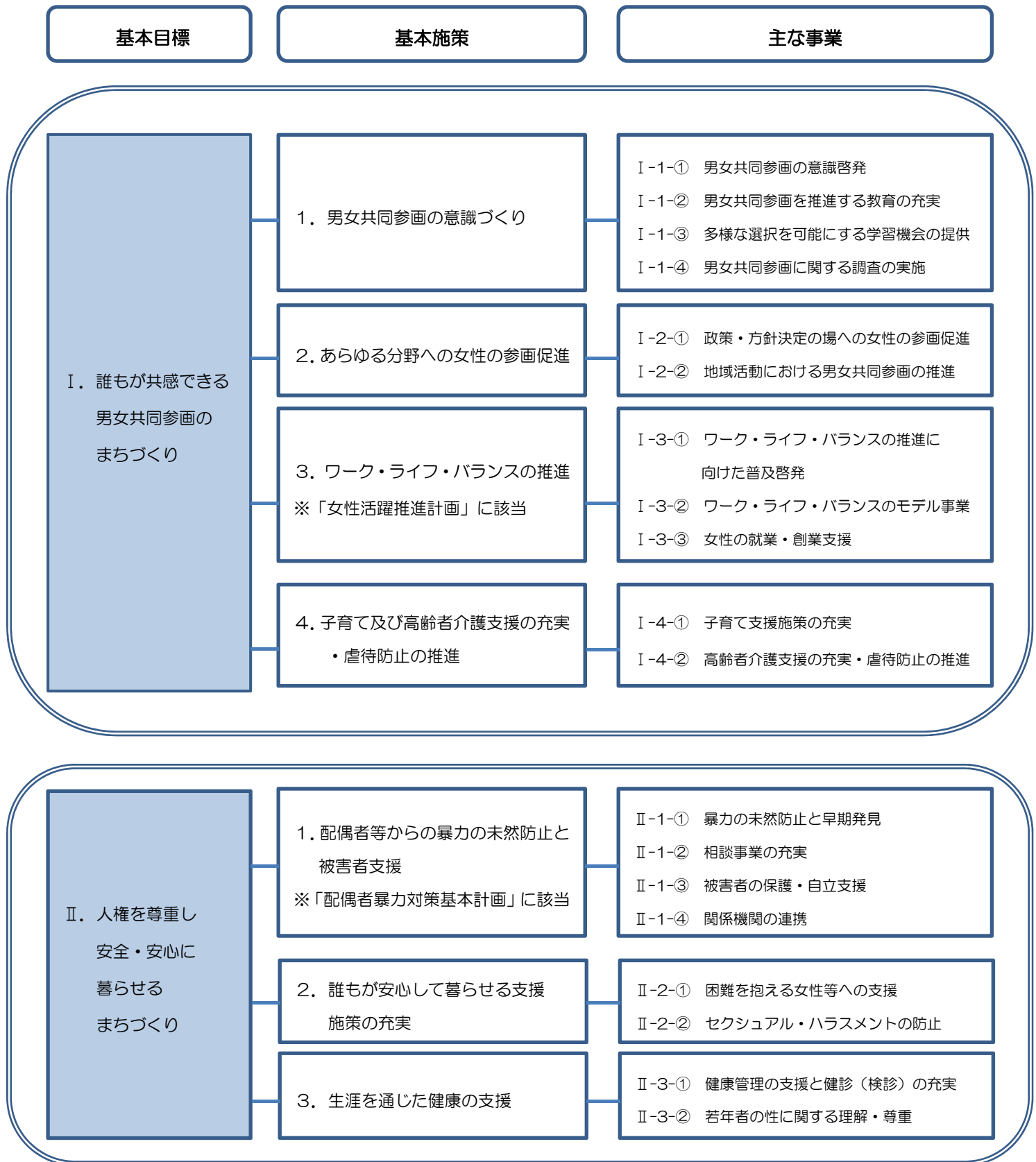
計画は、第2次糸島市男女共同参画社会基本計画を引き継ぐとともに、令和元年度に実施した男女共同参画に関する意識調査の結果を踏まえて策定しており、条例第9条に規定する「基本計画」として位置付けており、「行動計画」及び「実施計画」を毎年度「推進計画（以下「プラン」という。）」として個別に策定し、一体的な基本計画として管理しています。

また、プランについては、事業実績を取りまとめて報告することとし、計画に掲げる成果指標の進捗状況を確認しています。

3. 計画の期間

計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間ですが、具体的な施策や取組については、社会情勢や時代の変化に合わせ、必要度が高い事業から優先し、計画の期間内に毎年度プランを策定しています。

4. 第3次系島市男女共同参画社会基本計画体系図



5. 計画の進捗状況

計画では、7つの基本施策ごとに成果指標を掲げ、男女共同参画の実現に向け、取り組むこととしています。

令和4年度は、できる限り数値目標を設定したうえで、14課が37の事業に取り組みました。

各事業の達成度に応じて、評価を5段階で行い、計画の成果指標に対する達成状況について総括を行っています。

※【成果指標及び事業の達成度】

- AA 目標値に対する実績値の割合が110%以上
- A 目標値に対する実績値の割合が90%以上、110%未満
- B 目標値に対する実績値の割合が70%以上、90%未満
- C 目標値に対する実績値の割合が50%以上、70%未満
- D 目標値に対する実績値の割合が50%未満

●令和4年度実績

基本施策	事業数	達成度 AA	達成度 A	達成度 B	達成度 C	達成度 D
I-1 男女共同参画の意識づくり	7	3	4	0	0	0
I-2 あらゆる分野への女性の参画促進	8	1	5	2	0	0
I-3 ワーク・ライフ・バランスの推進	3	2	0	0	0	1
I-4 子育て及び高齢者介護支援の充実 ・虐待防止の推進	8	2	3	1	2	0
小計	26	8	12	3	2	1
II-1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援	5	1	2	0	1	1
II-2 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実	3	1	1	0	0	1
II-3 生涯を通じた健康の支援	3	2	0	1	0	0
小計	11	4	3	1	1	2
合計	37	12	15	4	3	3

【令和4年度事業実績に対する評価】

全37事業のうち、AA評価は12事業(32.4%)、A評価は15事業(40.5%)となっており、全体の70%を超えています。また、D評価は3事業(8.1%)で、令和3年度(全36事業のうち11事業(30.6%))と比較し割合が減少しました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が要因となり、事業の中止や縮小を余儀なくされ利用者減などの影響を受けましたが、令和4年度は、コロナ禍が長期化する中でも感染防止対策を講じながら「ウィズコロナ」を見据えた事業を実施できたことがこの結果に表れました。今後は、新型コロナウイルス感染症が法律上5類感染症に移行したことから、ポストコロナに向けた取組をする必要があります。

また、計画に掲げる成果指標については、各事業を実施したことにより、令和4年度末の状況で、次のようになっています。

●令和4年度成果指標の達成度

※I-1については5年毎に、I-3については2年毎に調査を行う関係で現状値が算出されていません。

基本施策	成果指標	計画策定時	現状値 令和5年3月31日	目標値	※達成度
I-1	「男女共同参画社会」という言葉の認知度	50.2%	—	60.0%	—
I-2	審議会等への女性委員の参画状況	35.5%	31.8%	40.0%	B
I-3	在宅勤務制度(テレワーク)を導入している市内事業者の割合	3.3%	—	10.0%	—
I-4	家庭や地域が手を差し伸べ支えあっていると思う市民の割合	47.1%	37.7%	52.0%	B
	放課後児童クラブ入所不承諾者数	51人	35人	0人	D
	子ども家庭相談のうち児童虐待相談の割合(福祉行政報告例)	23.7%	38.4%	20.8%	D
II-1	「デートDV」に対する認知度	41.5%	51.3%	70.0%	B
II-2	児童扶養手当受給者で就業を希望する者のうち就職に結びついた者の割合	67.6%	36.8%	80.0%	D
II-3	乳がん検診受診率	14.8%	12.7%	17.2%	B
	子宮頸がん検診受診率	12.2%	9.6%	14.6%	C
※総合評価					—

※総合評価は、基本計画の最終年度に行います。

基本施策 I - 1 男女共同参画の意識づくり

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
「男女共同参画社会」と という言葉の認知度	50.2%	—	60.0%

※5年毎に調査を行うため、現状値が算出されていません

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.1	男女共同参画推進 強調月間街頭啓発	啓発グッズ等配布数 1,200 個	啓発グッズ等配布数 1,170 個	A
No.2	男女共同参画センター 運営協議会の開催	運営協議会開催数 2回	運営協議会開催数 2回	A
No.3	市職員に対する研修の実施	研修受講率 98.0%	研修受講率 93.6%	A
No.4	若年者向け啓発冊子 配布事業	活用の割合 70.0%	活用の割合 79.4%	AA
No.5	キャリア教育出前講座事業	講座受講人数 700 人	講座受講人数 1,055 人	AA
No.6	男女共同参画社会基本計画 啓発推進事業	動画作成数 1回	動画作成数 1回	A
No.7	託児の実施	託児預かり人数 40 人	託児預かり人数 48 人	AA

■令和4年度の総括及び今後の方向性

今なお根強く見受けられる固定的性別役割分担意識を取り除き、一人ひとりが自分の個性と能力を発揮して、希望するライフスタイルを実現する「男女共同参画社会」の認知度を高めるために実施した事業です。すべての事業で達成度 A 以上の結果となりましたが、その成果として実際に市民の意識に浸透し行動の変化が現れるまで、目標値や事業の内容を見直ししながら継続していく必要があります。

基本施策 I - 2 あらゆる分野への女性の参画促進

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
審議会等への女性委員の参画状況	35.5%	31.8%	40.0%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.8	女性職員の登用率向上 (主幹以上)	係長級以上の職に占める 女性の割合 (消防職員を除く) 26.0%	係長級以上の職に占める 女性の割合 (消防職員を除く) 21.6%	B
No.9	男女共同参画人材育成事業	研修参加者数 20人	研修参加者数 14人	B
No.10	家族経営協定の締結促進	家族経営協定数 91件	家族経営協定数 89件	A
No.11	審議会等における男女共同 参画の推進	男性・女性委員の構成割合 が30%以上となっている 審議会の割合 65.0%	男性・女性委員の構成割合 が30%以上となっている 審議会の割合 61.5%	A
No.12	自治会の男女共同参画促進 事業	ガイドブック案の作成 実施	ガイドブック案の作成 実施	A
No.13	校区避難所運営訓練事業	参加者数 2,998人	参加者数 3,238人	A
No.14	推進団体支援事業	支援事業数 3事業	支援事業数 5事業	AA
No.15	政治分野における男女共同 参画の推進を図るための実 態調査、情報収集	実態調査等実施回数 1回	実態調査等実施回数 1回	A

■令和4年度の総括及び今後の方向性

男女共同参画人材育成事業では、ファシリテーター養成講座を実施しました。今回から性別を問わず募集したところ、コミュニケーション能力の向上を望む意欲的な市民の応募がありました。また、本市の審議会等の女性委員登用率は31.8%で、福岡県内では27位となりました。性別にかかわらず多様な立場の視点や考え方を地域課題の解決に生かすため、目標の40%までさらに女性の登用を進める必要があります。

基本施策 I - 3 ワーク・ライフ・バランスの推進

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
在宅勤務制度（テレワーク）を導入している市内事業所の割合	3.3%	—	10.0%

※2年毎に調査を行うため、現状値が算出されていません

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.16	新規起業家応援事業	新規起業家数（女性） 12人	新規起業家数（女性） 31人	AA
No.17	イクボスマニュアルの活用	周知回数 1回	周知回数 0回	D
No.18	女性の再就職支援事業	講座受講者数 70人	講座受講者数 139人	AA

■令和4年度の総括及び今後の方向性

近年、起業を志す人が増加しています。新規起業家応援事業では、店舗などの改修費用や利子補給をはじめ創業塾の開催や開業手続きのサポート等を実施し、令和4年度の女性新規起業家数は令和3年度（15人）を上回りました。

イクボスマニュアルは、関連する管理職研修が開催できず活用に至りませんでした。今後、全職員を対象に周知方法・活用機会等を工夫し、職員のワーク・ライフ・バランスを推進します。

女性の再就職支援事業については、WEB プチ起業講座、ライフプランセミナー、在宅ワーク講座、ワーク・ライフ・バランスセミナーや就職支援講座（調剤薬局事務技能認定講座）を開催しました。講座の内容により受講者数に差があったため、市民の興味を引く広報の仕方をスキルアップする必要があります。

コロナ禍は個人や企業が働き方を見直す機会となり、テレワークの技術も劇的に進化しました。個人の様々な事情に応じて多様で柔軟な働き方ができることは、地域社会全体の活力の維持、向上、活性化へとつながるため、ますます重要となっています。今後もワーク・ライフ・バランスの実現に向け、積極的に推進していきます。

基本施策 I - 4 子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
家庭や地域が手を差し伸べ て支え合っていると思う 市民の割合	47.1%	37.7%	52.0%
放課後児童クラブ入所 不承諾者数	51人	35人	0人
子ども家庭相談のうち児 童虐待相談の割合 (福祉行政報告例)	23.7%	38.4%	20.8%

■ 成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.19	病児・病後児保育事業	利用者数 1,188人	利用者数 597人	C
No.20	子育て短期支援事業	契約施設数 2箇所	契約施設数 2箇所	A
No.21	民間保育所施設整備事業	保育所入所定員数 2,798人	保育所入所定員数 2,829人	A
No.22	ファミリー・サポート・ センター事業	利用者数(会員登録者数) 470人	利用者数(会員登録者数) 530人	AA
No.23	ママ・パパ教室	教室参加者数 130人	教室参加者数 190人	AA
No.24	介護人材確保事業	研修受講者数 40人	研修受講者数 38人	A
No.25	生活支援体制整備事業	地域ささえあい会議で創出 された事業数 10事業	地域ささえあい会議で創出 された事業数 6事業	C
No.26	認知症施策推進事業	認知症カフェ設置件数 10件	認知症カフェ設置件数 8件	B

■ 令和4年度の総括及び今後の方向性

病児・病後児保育事業については、コロナ禍により利用を控える保護者の方が多く、目標値を下まわりましたが、令和3年度(582人)より利用者は増加しています。今

後は、新型コロナウイルス感染症の5類移行と利用料無償化に伴い、利用者増が見込まれます。

ファミリー・サポート・センター事業では、令和3年度に半減した会員登録会を、令和4年度においては毎月開催できたため、登録者が増加しました。

ママ・パパ教室事業も、集団形式、個別形式、リモートと細分化して実施し、目標値を上回りました。

また、生活支援体制整備事業は、令和4年度に通所型介護予防事業が2か所開設され、南風校区にて住民主体で実施されている地域食堂のような取組を合わせ、令和3年度（3事業）から倍増の合計6事業となりました。地域の中で要介護者とその家族を支援し負担を軽減するための事業として、今後も継続して取り組みます。

基本施策Ⅱ－1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
「デートDV」に対する認知度	41.5%	51.3%	70.0%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.27	若年層へのデートDV防止啓発	リーフレット配布数 2,000 個	リーフレット配布数 3,835 個	AA
No.28	啓発講座や出前講座の実施	動画再生回数 1,200 回	動画再生回数 796 回	C
No.29	実務担当者の相談・援助技術の向上	研修実施回数 1 回	研修実施回数 1 回	A
No.30	関係課との連携相談対応	連携相談対応件数 370 件	連携相談対応件数 142 件	D
No.31	福岡県との連携会議	要連携ケースに係る会議 開催割合 100%	要連携ケースに係る会議 開催割合 100%	A

■令和4年度の総括及び今後の方向性

若年層へのデートDV防止の街頭啓発や啓発講座、出前講座の実施については、中高生を対象にしたデートDV等の出前講座を5回開催、その際にデートDVや相談窓口を案内したリーフレットを配布しました。また、インターネットの活用によるDV防止啓発動画の配信を引き続き行いました。今後も、市民に動画配信を周知し啓発を継続していきます。

さらに、DV 被害者相談対応では、個々の状況に応じて関係課、警察、配偶者暴力相談支援センターと情報を共有し、緊密に連携しました。連携相談件数は目標値に届いていませんが、連携が必要な相談はすべて関係機関と連携し、対応を行いました。

基本施策Ⅱ－２ 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
児童扶養手当受給者で就業を希望する者のうち就職に結びついた者の割合	67.6%	36.8%	80.0%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.32	生活困窮者自立支援事業	母子世帯の支援プラン作成数 5件	母子世帯の支援プラン作成数 8件	AA
No.33	ハラスメント相談員及び相談窓口の設置	ハラスメント相談等窓口の周知 1回	ハラスメント相談等窓口の周知 1回	A
No.34	ひとり親家庭等就学支援事業	利用者数 1人	利用者数 0人	D

■令和4年度の総括及び今後の方向性

生活困窮者自立支援事業については、令和4年度から生活に困窮する女性とその子どもの支援のための取組と目標値に変更し、目標値を上回る実績となりました。ただし、困ったときにしか相談に来ないため、生活困窮者の真の自立に向けた根本的な課題解決への働きかけが今後の課題です。

ハラスメント相談員及び相談窓口の設置については、ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任し、安心して相談できる相談窓口を設置し、今後も職場環境の整備を推進します。

基本施策Ⅱ - 3 生涯を通じた健康の支援

成果指標	計画策定時	令和5年3月31日現状値	目標値
乳がん検診受診率	14.8%	12.7%	17.2%
子宮頸がん検診受診率	12.2%	9.6%	14.6%

■成果指標の達成に向けた主な取組

事業番号	事業名	目標値	実績値	達成度
No.35	栄養講座の開催	講座参加者実数 30人	講座参加者実数 34人	AA
No.36	女性特有のがん予防対策	がん検診受診率 子宮頸がん 12.6% 乳がん 14.8%	がん検診受診率 子宮頸がん 9.6% 乳がん 12.7%	B
No.37	スポーツチャレンジ事業	参加人数 300人	参加人数 339人	AA

■令和4年度の総括及び今後の方向性

栄養講座はコロナ禍の中、感染予防対策を講じて実施し、参加者数は令和3年度（11人）に比べ約3倍となり目標値を上回りました。

女性特有のがん予防対策については、コロナ禍により個別検診の受診勧奨に注力しました。今後は「検診は受けるもの」という気運醸成に努め、コロナ禍前の受診率への回復を目指します。

スポーツチャレンジ事業（ライフステージに合わせた事業）も、感染予防対策を講じて実施し、令和3年度（92人）から大きく参加者が増え目標値を上回りました。引き続き目的に沿った事業の充実を図ります。

【基本目標】誰もが共感できる男女共同参画のまちづくり

【基本施策】男女共同参画の意識づくり

No.	1	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画推進強調月間街頭啓発		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	男女共同参画社会の形成に関する理解を深めるため、男女共同参画推進強調月間である6月に、公共施設やJR駅構内等で啓発グッズの配布等を行い、周知を行う。		
実施状況 今後の課題	男女共同参画推進強調月間である6月1日から30日にかけて、市役所やコミュニティセンター等86か所にてポスター掲示と啓発グッズ等の配布を行った。		
活動指標	指標	啓発グッズ等配布数	
	(現状値)	1,200	個
	(目標値)	1,200	個
	(実績値)	1,170	個
達成度	A	97.5	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	2	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画センター運営協議会の開催		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	男女共同参画センターラポールの利用者や市民、有識者で構成される運営協議会を設置し、男女共同参画センターの事業等に対し意見をいただき、同センターを中心とした男女共同参画の啓発を推進する。		
実施状況 今後の課題	令和4年9月（書面）及び令和5年2月（対面）に運営協議会を開催し、男女共同参画センターの有効活用について、意見をいただいた。		
活動指標	指標	運営協議会開催数	
	(現状値)	2	回
	(目標値)	2	回
	(実績値)	2	回
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	3	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	市職員に対する研修の実施		
担当課	総務課		
事業内容	男女共同参画に関する知識等の研修会を実施し、市職員に対する意識改革を図る。		
実施状況 今後の課題	令和4年度は「インターネットの時代における同和問題」と「ジェンダーの視点からみる多様な人材活躍」の2つのテーマに分け、全体で13回の研修を実施し、意識改革を図った。欠席した職員のうち、病欠や出勤困難休暇の理由による職員もいた。		
活動指標	指標	研修受講率	
	(現状値)	0.0	%
	(目標値)	98.0	%
	(実績値)	93.6	%
達成度	A	95.5	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	4	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	若年者向け啓発冊子配布事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課・学校教育課		
事業内容	男女共同参画社会の推進に向け、ジェンダーの視点を踏まえた若年者向けの啓発冊子を作成し、市内の小学2、5年生及び中学2年生に配布する。		
実施状況 今後の課題	ジェンダーの視点を踏まえた小・中学生用の啓発冊子「大切なわたし 大切なあなた」を、市内の小学2年生・同5年生・中学2年生と教職員等に配布した。		
活動指標	指標	活用の割合	
	(現状値)	—	%
	(目標値)	70.0	%
	(実績値)	79.4	%
達成度	AA	113.4	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	5	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	キャリア教育出前講座事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課・学校教育課		
事業内容	市内の小・中学校等に出向き、ジェンダーの視点を踏まえた「働く」ことや「自分らしく」生きるために必要な考え方などについて、学ぶ講座を開催し、啓発を推進する。		
実施状況 今後の課題	市内の小・中学校等に出向き出前講座を7回開催し、生徒や教師に向けて啓発を実施した。コロナ禍ではあったが比較的感染者が少ない時期に実施することができた。		
活動指標	指標	講座受講人数	
	(現状値)	544	人
	(目標値)	700	人
	(実績値)	1,055	人
達成度	AA	150.7	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	6	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	男女共同参画社会基本計画啓発推進事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	講座等においてリーフレットの配布や、オンラインにて動画を配信することにより、糸島市男女共同参画社会基本計画に掲げる基本施策について、より多くの市民に向けた啓発を推進する。		
実施状況 今後の課題	新規にアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づくための啓発動画「アンコンシャス・バイアスってな～に?!」を作成、インターネット上で配信。1月1日公開、視聴53回（令和5年3月末現在）。		
活動指標	指標	動画作成数	
	(現状値)	1	回
	(目標値)	1	回
	(実績値)	1	回
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	7	基本施策	男女共同参画の意識づくり
事業名	託児の実施		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	人権・男女共同参画推進課や男女共同参画推進団体が開催する講座等において、託児を実施し、子育て中の女性の参画を推進する。 令和4年度に講座等のオンライン化を進める予定のため、目標値を昨年度の3分の2に設定した。		
実施状況 今後の課題	ラポール講座や講演会開催時に、参加者から託児の需要があった。 令和5年度からはオンライン講座開催により、講座時の託児は減少予定。		
活動指標	指標	託児預かり人数	
	(現状値)	5	人
	(目標値)	40	人
	(実績値)	48	人
達成度	AA	120.0	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

【基本目標】誰もが共感できる男女共同参画のまちづくり

【基本施策】あらゆる分野への女性の参画促進

No.	8	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	女性職員の登用率向上（主幹以上）		
担当課	総務課		
事業内容	職員調書を尊重した適材適所の人事配置に努める。 育児・介護のための両立支援ガイドを活用し、積極的な推進に努める。		
実施状況 今後の課題	係長級以上に占める女性割合は目標値を達成していない。管理職の女性割合は19.7%であり、ここ数年徐々に増加している。 両立支援ガイドの活用のため、まずは周知を行う。		
活動指標	指標	係長級以上の職に占める女性の割合 (消防職員を除く)	
	(現状値)	25.4	%
	(目標値)	26.0	%
	(実績値)	21.6	%
達成度	B	83.1	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	9	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	男女共同参画人材育成事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	ジェンダーの視点から多様な意見が適切に反映されるよう、政策や方針決定の場への女性の参画を推進する講座等を開催する。		
実施状況 今後の課題	男女共同参画センターラポールにて、対話の場の進行役である「ファシリテーター」について学ぶ養成講座を6回開催した。今回から性別を問わず受講者を募集した。		
活動指標	指標	研修参加者数	
	(現状値)	18	人
	(目標値)	20	人
	(実績値)	14	人
達成度	B	70.0	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	10	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	家族経営協定の締結促進		
担当課	農業振興課		
事業内容	家族経営協定の締結を促進することで、女性の農業分野における役割を適正に評価するとともに、女性の経済的地位の向上と就業（農）条件や就業（農）環境の整備を図り、女性の農業経営への参画を促進する。		
実施状況 今後の課題	令和4年度に締結した2件ともに、女性の役割分担などを明確にした協定となっていた。今後も農業女性の会などで情報提供を行うなど制度の周知を図り、女性の農業経営の参画を促進する。		
活動指標	指標	家族経営協定数	
	(現状値)	87	件
	(目標値)	91	件
	(実績値)	89	件
達成度	A	97.8	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	11	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	審議会等における男女共同参画の推進		
担当課	コミュニティ推進課・人権・男女共同参画推進課		
事業内容	市政への市民参加を推進するため、審議会等へ市民の積極的登用を図ることとし、審議会等における男性及び女性委員の構成が、それぞれ30%以上となるよう努める。		
実施状況 今後の課題	審議会等における女性登用率は31.8%（R4.4.1現在）であった。男性委員及び女性委員の構成割合が30%未満となった審議会等もあることから、審議会等の委員選任時の事前協議の徹底等により目標達成に努めた。		
活動指標	指標	男性及び女性委員の構成割合が30%以上となっている審議会の割合	
	(現状値)	54.0	%
	(目標値)	65.0	%
	(実績値)	61.5	%
達成度	A	94.6	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	12	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	自治会の男女共同参画促進事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	地域生活の基盤となる校区・行政区自治会活動の場での男女共同参画の推進について、本市の現状に即した新たなガイドブック案を作成する。		
実施状況 今後の課題	ガイドブックの素案を作成した。 今後は、この素案を基に詳細を決定していく方針。		
活動指標	指標	ガイドブック案の作成	
	(現状値)	-	
	(目標値)	実施	
	(実績値)	実施	
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	13	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	校区避難所運営訓練事業		
担当課	危機管理課		
事業内容	大規模災害を想定し、校区住民が主体となって避難所運営訓練を実施する。 訓練にあたっては、事前に研修会を行い、避難所運営のノウハウを習得する。その中で、女性の視点を取入れた運営を学ぶ。		
実施状況 今後の課題	計画していた7校区において実施することができた。 男女それぞれの視点で気づいた点など意見交換を行うことができ、男女共同参画社会の推進にもつなげることができた。		
活動指標	指標	参加者数	
	(現状値)	2,298	人
	(目標値)	2,998	人
	(実績値)	3,238	人
達成度	A	108.0	%
今後の取組予定	一度、事業を終了する		

No.	14	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	推進団体支援事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	市の男女共同参画を推進し、男女共同参画センターを有効に活用するため、市内団体のうち、男女共同参画推進に尽力する団体に対し、啓発活動や施設利用、広報活動における支援を行い、座談会等により意見交換を行う。		
実施状況 今後の課題	令和4年度よりバス視察研修の支援を実施し、3つの市内推進団体すべてが視察研修を行った。また、2つの団体が講演会を開催した。これら事業に関し、市が支援を行った。		
活動指標	指標	支援事業数	
	(現状値)	2 事業	
	(目標値)	3 事業	
	(実績値)	5 事業	
達成度	AA	166.7	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	15	基本施策	あらゆる分野への女性の参画促進
事業名	政治分野における男女共同参画の推進を図るための実態調査、情報収集		
担当課	議事課		
事業内容	市議会議員、関係団体等の実態調査等を実施し、政治分野における男女共同参画の推進を図る。		
実施状況 今後の課題	女性議員へ実態調査及び聞き取り調査を行った。政治分野における男女共同参画の推進を図るため、女性が立候補しやすい環境づくり、女性が参画するための気運を高める取り組み等に関しては人権・男女共同参画推進課へ引き継ぎ、議員への研修に関しては引き続き議事課で実施していく。		
活動指標	指標	実態調査等実施回数	
	(現状値)	- 回	
	(目標値)	1 回	
	(実績値)	1 回	
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	一度、事業を終了する		

【基本目標】誰もが共感できる男女共同参画のまちづくり

【基本施策】ワーク・ライフ・バランスの推進

No.	16	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	新規起業家応援事業		
担当課	商工振興課		
事業内容	市内で新規に起業する人を応援するため、店舗などの改修費用や利子補給をはじめ、創業塾の開催や開業手続きのサポートなどを行う。 年度ごとに創業者数が変動し、かつ、コロナ禍で創業者数が減少する可能性があるため、昨年度目標値のままとする。		
実施状況 今後の課題	糸島市商工会と連携しながら、市内で新規に起業する人を応援するため、店舗などの改修費用や利子補給をはじめ、創業塾の開催や開業手続きのサポートなどを行った。		
活動指標	指標	新規起業家数（女性）	
	（現状値）	15 人	
	（目標値）	12 人	
	（実績値）	31 人	
達成度	AA	258.3 %	
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	17	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	イクボスマニュアルの活用		
担当課	総務課		
事業内容	部下が育児と仕事を両立できるように配慮し、育休取得や短時間勤務などを行っても業務を滞りなく進めるための環境整備に向け、機会を捉えて全職員を対象にイクボスマニュアルの活用について周知することにより、ワーク・ライフ・バランスを推進することを目指す。		
実施状況 今後の課題	令和2年3月に作成し、ファイルキャビネットに掲載している。管理職研修などで活用することはできなかった。今後、周知方法や活用機会の工夫を行い、職員のワークライフバランスの推進を行う必要がある。		
活動指標	指標	周知回数	
	（現状値）	0 回	
	（目標値）	1 回	
	（実績値）	0 回	
達成度	D	0.0 %	
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	18	基本施策	ワーク・ライフ・バランスの推進
事業名	女性の再就職支援事業		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	福岡県労働者支援事業所等と連携した就職支援講座や、様々な技能を活かした就業継続・支援に向けた講座を開催する。		
実施状況 今後の課題	WEBプチ起業講座、ライフプランセミナー、在宅ワーク講座、ワーク・ライフ・バランスセミナー、就職支援講座（調剤薬局事務技能認定講座）を開催した。講座により受講者数が差があるため、市民への周知方法が課題。		
活動指標	指標	講座受講者数	
	(現状値)	59	人
	(目標値)	70	人
	(実績値)	139	人
達成度	AA	198.6	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】誰もが共感できる男女共同参画のまちづくり

【基本施策】子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進

No.	19	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進	
事業名	病児・病後児保育事業			
担当課	子ども課			
事業内容	医師会に委託して病児・病後児保育事業を実施し、子育て環境の向上と保護者の就労支援を図る。 感染症対策はサービスの基本として実施し、広報いとしま等により市民に事業を周知する。			
実施状況 今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少している。今後は、5類への引き下げ及び利用料無償化に伴い、利用者数は増加に転じるものと考えられる。			
活動指標	指標	利用者数		
	(現状値)	582	人	
	(目標値)	1,188	人	
	(実績値)	597	人	
達成度	C	50.3	%	
今後の取組予定	今後も継続して取り組む			

No.	20	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進	
事業名	子育て短期支援事業			
担当課	子育て支援課			
事業内容	保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養護することが一時的に困難となった場合等に契約施設において一定期間の保護及び養育を行う。			
実施状況 今後の課題	2施設と契約し、事業を実施。来年度も継続。			
活動指標	指標	契約施設数		
	(現状値)	2	箇所	
	(目標値)	2	箇所	
	(実績値)	2	箇所	
達成度	A	100.0	%	
今後の取組予定	今後も継続して取り組む			

No.	21	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	民間保育所施設整備事業		
担当課	子ども課		
事業内容	民間保育所の老朽化した施設の建替えを実施し、保育環境の整備と待機児童の解消を図る。		
実施状況 今後の課題	民間保育所の施設整備等により、定員が増加した。		
活動指標	指標	保育所入所定員数	
	(現状値)	2,798	人
	(目標値)	2,798	人
	(実績値)	2,829	人
達成度	A	101.1	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	22	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	ファミリー・サポート・センター事業		
担当課	子育て支援課		
事業内容	子育てを援助してほしい人（おねがい会員）と子育てを援助したい人（サポート会員）が会員登録をし、相互援助活動を行う。		
実施状況 今後の課題	会員登録会を毎月開催したことで、登録者は増加した。今後もおねがい会員の利用促進とサポート会員の拡充に向け、取り組みを進める。		
活動指標	指標	利用者数（会員登録者数）	
	(現状値)	454	人
	(目標値)	470	人
	(実績値)	530	人
達成度	AA	112.8	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	23	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	ママ・パパ教室		
担当課	子育て支援課		
事業内容	妊婦とその家族を対象に、生まれてすぐからの子育てについて必要な知識等を学ぶ勉強会を実施。		
実施状況 今後の課題	集団形式7回（内、コロナ緊急事態措置等に伴い、リモートで1回実施（7月））、個別形式25回実施。今後も集団及び個別形式、リモートでの実施を継続する。		
活動指標	指標	教室参加者数	
	（現状値）	126	人
	（目標値）	130	人
	（実績値）	190	人
達成度	AA	146.2	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	24	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	介護人材確保事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	在宅でも介護ができるという意識づけを行うため、家庭介護者向け研修会を実施する。1クール（4回）を年2回実施する。		
実施状況 今後の課題	9月、11月に研修会を開催し、38人、延べ126人が受講した。介護力を向上することは、在宅介護を推進する上で重要なことから、研修会以外の取組も力を入れていく。		
活動指標	指標	研修受講者数	
	（現状値）	10	人
	（目標値）	40	人
	（実績値）	38	人
達成度	A	95.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	25	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	生活支援体制整備事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	地域において、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に、生活支援コーディネーターを配置し、地域での支えあいのシステムを構築する。		
実施状況 今後の課題	住民などのボランティアが主体となり、自主的・自発的に運営する通所型の介護予防事業が、今年度2か所スタートした。今後も地域課題の解決につながる事業創出の取組を継続する。		
活動指標	指標	地域ささえあい会議で創出された事業数	
	(現状値)	3 事業	
	(目標値)	10 事業	
	(実績値)	6 事業	
達成度	C	60.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	26	基本施策	子育て及び高齢者介護支援の充実・虐待防止の推進
事業名	認知症施策推進事業		
担当課	介護・高齢者支援課		
事業内容	認知症地域支援推進員を配置し、地域の実情に応じた各事業を実施することで、介護者等の負担を軽減する。		
実施状況 今後の課題	今年度1か所認知症カフェが開設した。開設支援を行うとともに、7つの継続カフェでの支援を行った。今後も、開設のない圏域を重点に、新規開設への取組を行う。		
活動指標	指標	認知症カフェ設置件数	
	(現状値)	7 件	
	(目標値)	10 件	
	(実績値)	8 件	
達成度	B	80.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

No.	27	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	若年層へのデートDV防止啓発		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	デートDVの認知度を高め防止に関する理解を深めるため、小中高生にリーフレットを配布し、周知を行う。		
実施状況 今後の課題	市内中学校や高校でのキャリア教育出前講座実施時を中心に、生徒に対してデートDVの内容や相談窓口を案内したリーフレット「コイマモリ」を配布、周知した。		
活動指標	指標	リーフレット配布数	
	(現状値)	388	個
	(目標値)	2,000	個
	(実績値)	3,835	個
達成度	AA	191.8	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	28	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	啓発講座や出前講座の実施		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	DVに対する正しい理解の普及啓発を推進するため、若年世代を含む市民に対し、啓発講座や動画配信を実施し、暴力の未然防止や早期発見につなげる。		
実施状況 今後の課題	市内中学校や高校などで、生徒を対象として出前講座を年間5回開催し、990人の参加者に対し啓発を行った。 また、コロナ禍に対応するため、DVについての動画配信も行った。		
活動指標	指標	動画再生回数 (対象動画2本分累計)	
	(現状値)	549	回
	(目標値)	1,200	回
	(実績値)	796	回
達成度	C	66.3	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	29	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	実務担当者の相談・援助技術の向上		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	実務担当者が正確な知識や情報を持ち、適切な対応を行うため、相談マニュアルを用いて相談・援助技術の研修・学習会を行い、さらなる相談・援助技術の向上を目指す。		
実施状況 今後の課題	女性相談マニュアルを活用し、男女共同参画推進係とラポールで相談・援助技術の共有を行った。		
活動指標	指標	研修実施回数	
	(現状値)	-	
	(目標値)	1 回	
	(実績値)	1 回	
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	30	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	関係課との連携相談対応		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	DV被害者の状況や、一人ひとりの状態に応じた支援を行うため、庁内関係各課と連携し、情報共有や相談体制の構築を図る。		
実施状況 今後の課題	DV被害者の個々の状況に応じ、日頃から他機関や庁内関係各課と情報共有し、臨機応変に対応している。前年度に比べ、DV相談以外の相談が増加し、緊急を要するケースが減少したため、連携相談対応件数は減少した。		
活動指標	指標	連携相談対応件数	
	(現状値)	178 件	
	(目標値)	370 件	
	(実績値)	142 件	
達成度	D	38.4	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	31	基本施策	配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援
事業名	福岡県との連携会議		
担当課	人権・男女共同参画推進課		
事業内容	福岡県をはじめ、警察などの関係機関との会議を設け、情報共有やケース対応についての確認を行い、組織を越えた連携体制を構築することで、相談体制の充実を図る。		
実施状況 今後の課題	福岡県や糸島警察署などの関係機関と、日頃から情報共有し連携体制を構築している。関係機関の連携会議で、取組状況を報告し有事の連携について確認を行った。		
活動指標	指標	要連携ケースに係る会議開催割合	
	(現状値)	100.0	%
	(目標値)	100.0	%
	(実績値)	100.0	%
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

No.	32	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	生活困窮者自立支援事業		
担当課	福祉保護課		
事業内容	生活困窮者自立相談支援事業において、生活困窮世帯における女性及びその子どもへの支援を行う。		
実施状況 今後の課題	生活困窮者からの相談を受け必要に応じて専門職が支援のためのプランを作成し、家計改善支援事業者等と連携を図り課題解決に向けた支援を行った。定期的な家計相談が望まれるが、困った時しか相談に来ないため、根本的な改善につながっていない。表面的な課題だけでなく、潜在的な課題へどのように働きかけていくが今後の課題である。		
活動指標	指標	母子世帯の支援プラン作成数	
	(現状値)	4	件
	(目標値)	5	件
	(実績値)	8	件
達成度	AA	160.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	33	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	ハラスメント相談員及び相談窓口の設置		
担当課	総務課		
事業内容	ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任し、安心して相談できる相談窓口を設置し、職場環境の整備に取り組む。		
実施状況 今後の課題	ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、個別に資料を配付して説明を行った。今後も安心して相談できる相談窓口を設置し、職場環境の整備を推進する。		
活動指標	指標	ハラスメント相談等窓口の周知	
	(現状値)	1	回
	(目標値)	1	回
	(実績値)	1	回
達成度	A	100.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	34	基本施策	誰もが安心して暮らせる支援施策の充実
事業名	ひとり親家庭等修学支援事業		
担当課	子育て支援課		
事業内容	ひとり親家庭の親及び子どもが、高卒認定試験合格のための講座を受講し、受講開始時、修了時、試験合格時に受講費用の一部を支給する。		
実施状況 今後の課題	相談時に配付しているひとり親家庭応援ハンドブックに掲載し周知。ひとり親家庭の支援の一環として継続して実施する。		
活動指標	指標	利用者数	
	(現状値)	0	人
	(目標値)	1	人
	(実績値)	0	人
達成度	D	0.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 生涯を通じた健康の支援

No.	35	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	栄養講座の開催		
担当課	健康づくり課		
事業内容	健康管理・保持増進のため、栄養士講話等で構成する「栄養講座」「食育講座」「出前講座」を開催し、生活習慣病予防のための食習慣に関する正しい知識の啓発を、学童期から成人期に向けて広く行う。		
実施状況 今後の課題	コロナ感染症の影響下ではあったが、感染予防対策を講じ実施。各講座参加実数は、栄養講座12名、食育講座15名、出前講座7名。講座内のみならず、受講後も継続して食生活改善に取り組めるよう支援していくことが課題。		
活動指標	指標	講座参加者実数	
	(現状値)	11	人
	(目標値)	30	人
	(実績値)	34	人
達成度	AA	113.3	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		

No.	36	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	女性特有のがん予防対策		
担当課	健康づくり課		
事業内容	女性特有のがん予防対策として、子宮頸がん、乳がん検診の推進を図るために、女性に対する検診体制の拡充（レディースデイの設定や就学前健診との同時実施、個別検診の継続、JA女性部との同時実施）や未受診者への受診勧奨を行う。		
実施状況 今後の課題	感染予防対策を講じながら検診を実施すると共に、個別健診の受診勧奨に注力した。21歳、41歳の無料クーポン券対象者、40歳、50歳の節目年齢者へ受診勧奨通知を送付したが、思うように受診に繋がっていない現状がある。受診行動に繋がる勧奨通知内容の再検討と共に、検診は受けるものという気運をいかに醸成していくかが課題。		
活動指標	指標	受診率（地域保健報告値：対象者は全糸島市民）	
	(現状値)	子宮頸がん 乳がん	9.3 11.5 %
	(目標値)	子宮頸がん 乳がん	12.6 14.8 %
	(実績値)	子宮頸がん 乳がん	9.6 12.7 %
達成度	B	80.0	%
今後の取組予定	内容を（一部）見直して、取り組む		

No.	37	基本施策	生涯を通じた健康の支援
事業名	スポーツチャレンジ事業（ライフステージに合わせた事業）		
担当課	生涯学習課		
事業内容	女性も参加しやすいよう、ライフステージに合わせ、親子、働く世代、シニア層などを対象とする様々な体験講座を実施することで、体と心のリフレッシュを図り、スポーツを行うきっかけづくりを行う。		
実施状況 今後の課題	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら、各種事業を展開することができた。 今後は、引き続き目的に沿った事業を展開するとともに、さらに参加人数を増やしていきたい。		
活動指標	指標	参加人数	
	（現状値）	92	人
	（目標値）	300	人
	（実績値）	339	人
達成度	AA	113.0	%
今後の取組予定	今後も継続して取り組む		